

平成30年度

事業報告

社会福祉法人 明和会

平成 30 年度 社会福祉法人明和会 事業計画実施結果報告順

1	法人本部	1~4P	
2	かおる園	5~21P	
	・特別養護老人ホーム		5~9P
	・短期入所生活介護		10~11P
	・デイサービスセンター		12~16P
	・居宅介護支援事業所 虹		17~19P
	・基準緩和型デイサービス 元気満天		20~21P
3	ハーブガーデン新十津川	22~36P	
	・ケアハウス/特定施設		22~30P
	・デイサービスセンター		31~36P
4	陽だまりの郷	37~48P	
	・グループホーム		37~43P
	・小規模多機能型事業		44~48P
5	生活介護事業所 ひかり	49~53P	
6	ホームピンネ	54~65P	
	・花月地区ホームピンネ		54~58P
	・中央地区ホームピンネ		59~65P
7	フレーバーカントリー	66~69P	
8	きつずでい ここ	70~74P	
9	相談支援事業所 虹	75~78P	

平成30年度 事業目標と結果 (事業所名： 法人本部)

(全体総括)

財務の視点における処遇改善Ⅰの取得については継続して実現を図っていく。顧客の視点の働きやすさ満足度調査では、80%を超える結果が得られた。内部プロセスの視点の時間外勤務及び有給消化残数4日以下では、目標値に達せず、また、時間外残日数では個人差があり把握できなかったが、有給消化日数の全体平均では10.6日であった。人材と変革の視点では、地域パート職員が3名、新卒職員の採用では3名と目標値を大きく下回った。

項目	目標	尺度	目標値	結果
財務の視点	継続できる給与体制の作成	処遇改善加算	処遇改善Ⅰの取得	・他法人の状況確認(他法人 2事業所)を行った。 ・処遇改善Ⅰ取得には至らなかった。
顧客の視点	働きやすさ満足度	アンケート調査による ①働きやすさ満足度 ②働く環境満足度	①80% ②80%	① 80.3% ・常勤換算と適正人数を把握し、職員の配置を行った。 ② 64.3% ・各管理者と打合せをし、エアコンが必要な箇所を検討し予算をつけた。
内部プロセスの視点	適正な勤務が出来る。	①時間外勤務0時間 ②有休消化残数が平均4日以下	①0時間 ②平均4日以下	①時間外(正規) 8.2時間/月(有期) 1.9時間/月 ②有休消化日数が法人全体平均で10.6日/年
人材と変革の視点	働きやすい職場作りのための多様な人財の採用と育成	①地域パート職員採用 ②高校生アルバイト	① 10名 ② 10名	① 3名 ② 0名
		新卒職員の採用	10名	3名

決算状況 (4月～3月) 本部

収入	H29	H30
事業活動収入計	6,035,799	5,424,836
施設整備等収入計	2,239,835	0
その他の活動収入計	191,517,027	234,877,010

支出	H29	H30
事業活動支出計	89,775,268	92,870,633
施設整備等支出計	30,064,311	5,352,941
その他の活動支出計	75,271,680	140,445,912

差額	H29	H30
事業活動資金収支差額	-83,739,469	-87,445,797
施設整備等資金収支差額	-27,824,476	-5,352,941
その他の活動資金収支差額	116,245,347	94,431,098

平成30年度（1月～3月）法人本部会議・事業

監事監査会・理事会・評議員会（1月～3月）

会議名	開催日	時間	出席人数	出席者	議題・結果
第4回監事監査	1月29日	13:30～ 16:30	9名	理事長、監事2名、事務局長、課長職4名、記録事務	・平成30年度第3四半期事業、決算報告及び監査報告
第4回理事会	2月4日	17:30～ 20:00	16名	理事長、理事6名、監事2名、事務局長、課長職4名、事務局	【報告事項】 ・平成30年度第3四半期事業、決算報告及び監査報告 ・平成30年度第3四半期理事長職務執行状況報告 ・平成30年度第3四半期理事長専決事項報告 他 【協議事項】 ・平成30年度 冬季賞与支給額（率）について ・リハビリング・ハーブの開設について ・アメーバ経営コンサルティングの導入について ・平成30年度 補正予算案（第2号）の承認について ・社会福祉法人明和会 諸会議規程案の制定について
第5回理事会	3月18日	17:30～ 19:45	16名	理事長、理事5名、監事2名、事務局長、課長職4名、事務局	【協議事項】 ・平成31年度 事業計画（案）・収支予算（案）について ・平成31年度 組織体制（案）の一部変更について ・まちの保健室クリニックの廃止について ・社会福祉法人 明和会 経理規程の一部変更について ・社会福祉法人 明和会 就業規則の一部変更について ・共同生活援助事業所 ホームピンネ運営規程の一部変更について ・相談支援事業所 虹運営規程の一部変更について

事業所運営連絡会（前管理者会議）（1月～3月）

事業名	開催日	時間	全体参加数	参加者	内容
第4回事業所運営連絡会	1月10日	9:00～10:00	18名	理事長・事務局長・課長職5名・事業所管理者（11名）	・各事業所状況報告 ・各課状況報告 他
第5回事業所運営連絡会	2月13日	9:00～10:00	15名	理事長・事務局長・課長職4名・事業所管理者（9名）	・各事業所状況報告 ・各課状況報告 他
第6回事業所運営連絡会	3月11日	9:00～11:00	16名	理事長・事務局長・課長職4名・事業所管理者（10名）	・各事業所状況報告 ・各課状況報告 他

平成30年度 (事業所名： 法人本部)

研修/出張 (1月～3月)

研修名	開催日	場所	時間	参加人数	講師名	テーマ
ICT活用促進事業セミナー～介護事業者サービス向け～	1月16日	北海道自治労会館	9:30～16:00	1名(安藤課長)	中小企業診断士 ITコーディネーター 田中修身氏	ICTを活用した業務改善・導入に関する補助金や助成制度等について
平成30年度 老人福祉施設長研究セミナー	1月18日	ホテル札幌ガーデンパレス	10:20～17:00	2名(理事長・上郡課長)	ジャーナリスト 河合 雅司 氏	未来の年表 人口減少日本で医療・介護に起きること
ICT活用促進事業セミナー～介護事業者サービス向け～	1月22日	岩見沢市民会館文化センター	9:30～16:00	3名(理事長・八木課長・山崎課長)	中小企業診断士/ ITコーディネーター 川村昌彦氏	ICTを活用した業務改善・導入に関する補助金や助成制度等について
平成30年度 社会福祉法人会計実務者決算・財務分析講座	1月22日	北海道自治労会館 4階ホール	10:00～16:00	1名(菊地事務員)	あすの監査法人 勝見憲一氏 他	会計監査人の設置に対する社会福祉法人としての準備 他
管理職向け若手社員職場定着セミナー	1月24日	空知総合振興局会議室	13:30～15:30	2名(安藤課長・本間主任)	地域若者・定着支援事業 事務局	若者の職場定着に向け、若手社員のコミュニケーション向上や企業の離職問題への意識啓発と職場定着に向けた組織促進を図る
体系的にファンドレイジングを学べる雄一の基礎講座「准認定ファンドレイザー必修研修	1月30日	東京都 日本財団	10:00～17:00	2名(安藤課長・本間主任)	認定ファンドレイザー/認定講師	ファンドレイジング概論、実践の体系と基盤他
SNS運用担当者養成講座【同時中継】札幌教室	2月7日	宣伝会議 北海道本部	10:00～1800	1名(理事長)	(株)セガホールディングス 山田愛氏 (株)東急ハンズ 本田浩一氏 (株)ハウズワーク 本門功一郎氏 ケロジャパン 中川淳一郎氏	企業アカウントとして目指す「中の人」のマネジメント像 他
平成30年度 地域公益活動普及・啓発セミナー	2月13日	TKP札幌ビジネスセンター赤れんが前 はまなす	10:30～16:00	2名(安藤課長・本間主任)	北海道地域公益活動推進協議会 会長 太田 眞琴 氏	北海道における地域公益活動の取組、推進状況、実践について
平成30年度 社会福祉法人経営実務セミナー	2月14日	ホテルオークラ札幌	10:15～15:35	1名(理事長)	全国社会福祉法人経営者協議会制度・政策委員/地域共生社会推進委員会委員	将来を見据え、社会福祉経営に何が求められるか 他
平成30年度地域共生社会実現フォーラム	2月15日	表参道ヒルズ 地下3階 スペースオー	13:30～18:00	1名(本間主任)	主催全国社会福祉施設協議会/運営NPO 法人Ubdobe (神戸市) はっぴーのろっけん 首藤 義敬 氏	「地域共生社会」アウトプットに向けた繋がりアクション

研修名	開催日	場所	時間	参加人数	講師名	テーマ
平成30年度 空知老人福祉施設協議会 第3回 個別ケア部会研修会	2月15日	HOTEL TAIKO 1F 多目的ホール	9:45～16:00	1名(理事長)	武田和典氏他 三笠市ことぶき荘 生活相談員 大友有 佳利氏 介護係長 菊池千世 美氏	「地域とのつながり」～地域と 連携して実践している事 ①心穏やかな毎日の為に ②生きがいがある気を起こす
平成30年度北海道 デイサービスセン ター施設長研修	2月21・22 日	北海道自治労会 館 5階大ホール	13:00～17:00 9:30～11:30	2名(理 事長・八 木課長)	公益社団法人 全国 老人福祉施設協議会 副会長 小泉立志 氏 他	中央情勢報告 他
平成30年度 全道施設長 研修会	2月21・ 22日	京王プラザホテ ル札幌	13:00～12:00	1名(土 岐課長)	北海道保健福祉部健康 安全局地域保健課 健康福祉グループ 主幹菊地みさき氏 他	受動喫煙防止対策について 障害保健福祉施策の動向につい て
気づきを築くユニットケ ア全国実践研究フォーラ ム	3月9・10 日	関西学院大学	11:50～17:55 10:00～15:00	1名(理 事長)	各事業所発表 (社福) 湘南学園 杉立隆一氏他 京都老人福祉協会 橋川浩一郎氏他	各事業所発表 施設も地域の一員としての役割 とは!? その人が望む地域での暮らし方 を支えるには!?

平成30年度 事業目標と結果 (事業所名： 特別養護老人ホーム かおる園)

(全体総括)

入所待機者が減少している中、年度末にかけて死亡や入院での退所が出たこと、3月に入院者が増え、年間の稼働率を下げた。離職者が増え、職員の減少による職員への負担が増えた事も稼働の減少へつながっていると考えられる。今年度目標としていたかおる園内のルール作りに関して来年度はしっかりと定着させていき、職員の負担を軽減する事で離職者を減らし、日常のケアをしっかりと見直す事が必要であると同時に、入所待機者を増加させることが今後の課題である。

項目	目標	尺度	目標値	結果
財務の視点	稼働率100%を目指す。	年間延べ利用者数	年間延べ利用者数 36,500名	年間延べ利用者数 34,637名 (年間稼働率94.8%)
顧客の視点	在宅生活に戻ることが出来る。(自立した生活が送れる。)	日中おむつ使用者数	日中オムツ使用者ゼロ	おむつ使用者 H30.4月【22名】 ↓ H31.3月【11名】
内部プロセスの視点	要介護状態を改善する。	要介護度改善・維持者数	要介護度改善もしくは維持100%	改善10名 維持31名 悪化12名 維持・改善率77.8%
人材と変革の視点	理念・目標を具体化する。	ルール作成状況	行動表・手順書を作成する。	ルールの作成・定着が出来ていない。
	職員が定着する。	離職者数	離職者0名	年間離職者 9名

決算状況 (4月～3月) 特別養護老人ホームかおる園

収入	H29	H30
事業活動収入計	350,334,090	364,046,469
施設整備等収入計	0	0
その他の活動収入計	2,614,343	18,748,948

支出	H29	H30
事業活動支出計	299,678,462	316,864,792
施設整備等支出計	11,525,173	14,260,350
その他の活動支出計	41,955,000	45,284,000

差額	H29	H30
事業活動資金収支差額	50,655,628	47,181,677
施設整備等資金収支差額	-11,525,173	-14,260,350
その他の活動資金収支差額	-39,340,657	-26,535,052

平成30年度（事業所名： 特別養護老人ホーム かおる園 ）

会議（1月～3月）

会議名	開催日	時間	出席人数	出席者	議題・結果
職員会議①	1月15日	13:30～ 14:30	4名	河村管理者・平主任・高橋博主任・佐藤主任	・各フロアの稼働率確認 ・利用者状況に関して ・各種連絡事項の確認
	2月5日	13:30～ 14:30	4名	河村管理者・平主任・高橋博主任・佐藤主任	・各フロアの稼働率確認 ・利用者状況に関して ・各種連絡事項の確認
	3月5日	14:00～ 15:45	4名	河村管理者・平主任・高橋博主任・佐藤主任	・各フロアの稼働率確認 ・利用者状況に関して ・各種連絡事項の確認
職員会議②	1月29日	10:00～ 11:30	4名	河村管理者・平主任・高橋博主任・佐藤主任	・今後の予定について ・職員の動向について
	2月26日	10:00～ 12:00	4名	河村管理者・平主任・高橋博主任・佐藤主任	・今後の予定について ・職員の動向について
	3月26日	10:30～ 12:00	4名	河村管理者・平主任・高橋博主任・佐藤主任	・今後の予定について ・職員の動向について

委員会（1月～3月）

委員会名	開催日	時間	出席人数	出席者	議題・結果
衛生委員会	1月15日	10:10～ 10:40	8名	河村・高橋研・高橋博・平・今泉・瀧澤・宮脇・佐藤英	施設内巡視
	2月5日	10:30～ 11:00	9名	河村・高橋博・平・楠・佐藤英・今泉・瀧澤・宮脇・澤田	職場アンケートについての検討
	3月5日	9:30～10:00	9名	河村・高橋研・高橋博・平・佐藤・今泉・瀧澤・宮脇・澤田	来年度計画について
身体的拘束適正化・事故防止委員会	1月15日	11:30～ 11:40	8名	河村・高橋研・平・高橋博・今泉・瀧澤・大路・佐藤英	・事故、インシデント、ヒヤリハット発生件数を報告 ・事故、インシデント未提出者の確認を ・施設内研修の予定を報告

委員会名	開催日	時間	出席人数	出席者	議題・結果
身体的拘束適正化・事故防止委員会	2月5日	10:50～11:30	9名	河村・佐藤・平・高橋博・楠・今泉・瀧澤・澤田・宮脇	・事故、インシデント、ヒヤリハット発生件数について報告 ・事故、インシデント未提出者を確認 ・虐待アンケート結果について報告
	3月5日	10:15～11:00	7名	高橋・佐藤・高橋博・今泉・瀧澤・大路・宮脇	・事故、インシデント、ヒヤリハット発生件数について確認 ・事故、インシデント未提出者を確認 ・今年度の反省について検討 ・来年度の進行について検討
感染症委員会	1月15日	9:30～11:30	8名	河村・高橋研・佐藤英・高橋博・平・瀧澤・大路・宮脇	・感染症流行情報について確認、周知 ・感染症マニュアルに不明確な部分あり検討 ・罹患者の出たフロアで困った案件について報告、検討
	2月5日	9:30～10:30	9名	河村・佐藤英・高橋博・平・楠・瀧澤・澤田・宮脇・今泉	・感染症流行情報について確認 ・各居室の加湿状況について確認 ・インフルエンザマニュアルについて検討 ・嘔吐処理ロールプレイング実施について周知
	3月5日	11:00～11:40	8名	高橋研・佐藤英・高橋博・平・瀧澤・大路・宮脇・今泉	・感染症流行情報 ・マニュアルに記載する変更内容について検討、確認 ・施設内の暖房機器使用について検討

年度事業（1月～3月）

事業名	開催日	時間	全体参加数	参加者	内容
しもとつぷランタン祭り	2月9日	17:00～19:00	約180名	職員23名	町内の企業や事業所などから紙袋ランタンの作成協力を受け、作っていただいたランタンをかおる園駐車場やかおる園内に設置してかおる園の利用者や町内外の来場者に見てもらう。

平成30年度 (事業所名: 特別養護老人ホーム かおる園・短期入所生活介護 かおる園)

研修 (1月～3月)

研修名	開催日	場所	時間	参加人数	講師名	テーマ
平成30年度老人福祉施設長研究セミナー	1月18日	ホテル札幌ガーデンパレス	10:00～17:00	1名	北海道老協会長 瀬戸正嗣氏 河合雅司氏 (ジャーナリスト)	・中央情勢報告 ・「未来の年表」～人口減少日本で医療・介護に起きる事～
ICT活用促進事業セミナー	1月22日	岩見沢市民会館文化センター	9:30～16:00	1名	株式会社シムス	ICTの活用
平成30年度第3回個別ケア部会	2月15日	HOTEL TAIKO	10:00～16:30	3名	武田和典氏	施設見学 各施設の実践報告
第18回気づきを築くユニットケア全国実践研究フォーラム	3月10日	関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス	12:00～17:55	2名		各施設の実践発表
	3月11日		10:00～15:00		日本医療大学 リハビリテーション 学科 准教授 大堀具視氏 他	「動き出しは当事者から」 「バリデーションへの誘い」 など
平成30年度第3回多職種連携研修会	3月27日	岩見沢コミュニティプラザ	14:00～16:30	6名	芦別慈恵園より事例	多職種協働でご利用者様の食を支えるために(看取り期の食について)

平成30年度 事業目標と結果 (事業所名: 短期入所生活介護事業所 かもる園)

(全体総括)

短期利用者に対して在宅生活を継続していただく為に特別な対応が出来ていなかった。稼働率についても、1月のインフルエンザや利用者の入所により昨年度よりも低下している。また、新たな利用者も昨年よりも減少傾向にある。今後についても、在宅生活を継続できるように取り組み、短期入所利用中のケアについてご家族様に伝え、自宅でも継続していただく事が課題となっている。

項目	目標	尺度	目標値	結果
財務の視点	稼働率100%を目指す。	年間延べ利用者数	年間延べ利用者数 1095名	年間延べ利用者数 1033名 (稼働率106%)
顧客の視点	要介護状態が改善する。	要介護度改善もしくは維持100%	100%	利用実人数32名中 改善2名 維持22名 悪化8名 【維持・改善75%】
内部プロセスの視点	自立支援介護を実施する。	在宅生活の継続・入院入所	入院・入所ゼロ	利用実人数32名中 4名入所
人材と変革の視点	職員が定着する。	職員の離職者	離職者ゼロ	特養に同じ

決算状況 (4月~3月) 短期入所生活介護かもる園

収入	H29	H30
事業活動収入計	13,207,130	10,206,865
施設整備等収入計	1	0
その他の活動収入計	1,000,402	157,802

支出	H29	H30
事業活動支出計	6,072,063	6,786,544
施設整備等支出計	1,000,940	0
その他の活動支出計	5,698,931	3,370,000

差額	H29	H30
事業活動資金収支差額	7,135,067	3,420,321
施設整備等資金収支差額	-1,000,939	0
その他の活動資金収支差額	-4,698,529	-3,212,198

平成30年度 事業目標と結果 (事業所名：デイサービスセンターかおる園)

(全体総括)

活動内容の見直しと稼働率の回復に力を入れた一年間であった。利用者のニーズを受け、一つ一つ対応していく中で、かおる園のデイサービスが本来持たなくてはならない役割を明確にすることができた。結果として新規契約者32名(前年度19名)を受け稼働率向上を図ることができた。

今後さらなるサービス向上のため、利用者からの聞き取りと評価を行う必要がある。また、職員育成についても、しっかりとした評価が行える体制を整えていかなくてはならない。

項目	目標	尺度	目標値	結果
財務の視点	サービス活動収益	利用者人数	20,000,000円増	2,003,770円増 新規契約者32名 利用中止者17名 利用者15名増
	物品販売収入	売り上げ	230,000円増	未実施
顧客の視点	自分の能力を発揮する(デイかおる園を利用している方)	活動記録と実施 チェック表への記入/ 毎日	1回/1日実施	ケア記録システムと ミーティングを利用 し、情報共有でき た。
	マーケティング(デイかおる園を利用していない方)	基準緩和型デイ聞き 取り回数 他デイサービス情報 収集回数	①基準緩和型デイ聞き 取り1回/2月 ②他デイサービス情 報収集1回/4半期	①3ヶ月に1回実施し た。 ②デイサービスでは なく居宅介護支援事 業所にほぼ毎月訪問 し情報収集を行っ た。
内部プロセス の視点	かおるちゃんの店の 商品開発	売上 商品開発数	売上2,20,000円/年 商品開発1/年	未実施
	かおるちゃんの店の 商品PR	売上	売り上げ220,000円	未実施
人材と変革 の視点	利用者の能力評価	聞き取りと評価	3回/年	初期評価は行えた が、その後続かず評 価できなかった。
	商品販売に繋がりに くい方へのフォロー (1人1活動)	活動実施回数	毎利用時活動実施	活動へ意欲的ではな い方へのアプローチ 方法について議論し 対応を行えた。

決算状況 (4月～3月) デイサービスかおる園

収入	H29	H30
事業活動収入計	44,590,908	46,674,107
施設整備等収入計	0	508,850
その他の活動収入計	2,412	10,880,582

支出	H29	H30
事業活動支出計	38,076,734	46,511,357
施設整備等支出計	502,800	7,358,568
その他の活動支出計	5,577,500	4,386,488

差額	H29	H30
事業活動資金収支差額	6,514,174	162,750
施設整備等資金収支差額	-502,800	-6,849,718
その他の活動資金収支差額	-5,575,088	6,494,094

平成30年度（事業所名： デイサービスセンター かおる園 ）

会議（1月～3月）

会議名	開催日	時間	出席人数	出席者	議題・結果
在宅推進会議	1月18日	18:00～ 19:30	8名	高橋・年藤・井上・鎌田・杉山・齊藤・河野・楠	<ul style="list-style-type: none"> ・12月の稼働について報告した。 ・入浴と機能訓練の摺合せについて検討した。 ・口腔ケアに関して検討した。 ・次年度に向けての面談について説明した。 ・リーダー業務について検討した。
在宅推進会議	2月15日	18:00～ 19:30	7名	高橋・楠・井上・鎌田・杉山・齊藤・河野	<ul style="list-style-type: none"> ・1月の稼働について報告した。 ・2/25～3/7の食事について検討した。 ・緊急事対応について検討した。 ・リーダー業務について検討した。 ・3月の買い物外出について検討した。
在宅推進会議	3月22日	18:00～ 19:30	9名	高橋・井上・鎌田・杉山・齊藤・河野・年藤・赤沢・楠	<ul style="list-style-type: none"> ・2月の稼働について報告した。 ・服薬管理について検討した。 ・業務について検討した。 ・次年度に向けて検討、報告した。 ・新規利用者について説明した。

委員会（1月～3月）

委員会名	開催日	時間	出席人数	出席者	議題・結果
衛生委員会	1月15日	10:10～ 10:40	8名	河村・高橋研・高橋博・平・今泉・瀧澤・宮脇・佐藤英	施設内巡視
	2月5日	10:30～ 11:00	9名	河村・高橋博・平・楠・佐藤英・今泉・瀧澤副・宮脇・澤田	職場アンケートについての検討
	3月5日	9:30～ 10:00	9名	河村・高橋研・高橋博・平・佐藤・今泉・瀧澤・宮脇・澤田	来年度計画について
身体的拘束適正化・事故防止委員会	1月15日	11:30～ 11:40	8名	河村・高橋研・平・高橋博・今泉・瀧澤・大路・佐藤英	<ul style="list-style-type: none"> ・事故、インシデント、ヒヤリハット発生件数を報告した。 ・事故、インシデント未提出者の確認をした。 ・施設内研修の予定を報告した。
身体的拘束適正化・事故防止委員会	2月5日	10:50～ 11:30	9名	河村・佐藤・平・高橋博・楠・今泉・瀧澤・澤田・宮脇	<ul style="list-style-type: none"> ・事故、インシデント、ヒヤリハット発生件数について報告した。 ・事故、インシデント未提出者を確認した。 ・虐待アンケート結果について報告した。
	3月5日	10:15～ 11:00	7名	高橋・佐藤・高橋博・今泉・瀧澤・大路・宮脇	<ul style="list-style-type: none"> ・事故、インシデント、ヒヤリハット発生件数について確認した。 ・事故、インシデント未提出者を確認した。 ・今年度の反省について検討した。 ・来年度の進行について検討した。

委員会名	開催日	時間	出席人数	出席者	議題・結果
感染症委員会	1月15日	9:30～11:30	8名	河村・高橋研・佐藤英・高橋博・平・瀧澤・大路・宮脇	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症流行情報について確認、周知した。 ・感染症マニュアルに不明確な部分あり検討した。 ・罹患者の出たフロアで困った案件について報告、検討した。 ・加湿器点検状況について確認した。
	2月5日	9:30～10:30	9名	河村・佐藤英・高橋博・平・楠・瀧澤・澤田・宮脇・今泉	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症流行情報について確認した。 ・各居室の加湿状況について確認した。 ・インフルエンザマニュアルについて検討した。 ・嘔吐処理ロールプレイング実施について周知した。
	3月5日	11:00～11:40	8名	高橋研・佐藤英・高橋博・平・瀧澤・大路・宮脇・今泉	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症流行情報 ・マニュアルに記載する変更内容について検討、確認した。 ・施設内の暖房機器使用について検討した。

年度事業 (1月～3月)

事業名	開催日	時間	全体参加数	参加者	内容
初詣	1月4日	10:15～11:30 13:30～14:45	20名	職員 杉山・赤沢・河野・井上・斉藤・高橋研・年藤・鎌田・楠・田湯	新年の初めとして住み慣れた町の新十津川神社にてお参りをし、昔ながらの習慣を味わって頂いた。自力での外出が難しい利用者もいるため支援として実施した。また、終了後にアンケートにて聞き取り調査を行い、評価につなげた。
調理レク	2月21日	10:15～11:30	5名	職員 楠	利用者より「調理をして楽しかった」「何かレシピを教えてほしい」等の要望が引き続きあるため、健康レシピノートを活用した調理で利用者の意欲向上に繋げた。また、ご自宅での調理に役立てていただけるよう、調理中に援助し、レシピノートを配布した。調理後アンケート形式で振り返りを行い、評価につなげた。
買い物レク	3月 7,8,12,13,14,15, 17,18,22,25,29日	AM 10:00～11:30 PM 13:30～15:00	46名	職員 杉山・赤沢・河野・井上・斉藤 高橋研・年藤・鎌田・楠・田湯	食生活で意欲の向上、健康に過ごすことを目的に健康レシピノートを活用した「楽しく調理・楽しく食事」をする調理レクを実施した。

平成30年度 (事業所名： デイサービスセンター かおる園)

研修 (1月～3月)

研修名	開催日	場所	時間	参加人数	講師名	テーマ
平成30年度北海道デイサービスセンター施設長研修	2月21日 ～ 2月22日	札幌市	21日 13:00～ 16:20 22日 9:30～ 11:30	1名	・公益社団法人 全国老人福祉施設 協議会 副会長 小泉立志氏 ・社会福祉法人 土山 特別養護老人ホーム 土山 施設長 廣岡隆之氏 ・株式会社 あお いけあ代表取締役 加藤 忠相氏	・中央情勢報告 ・介護事業所における人材確保・具体的実践方法～入職待機者が多数いる介護施設の実践とアイデア ・地域包括ケアシステムにおける通所介護の役割と今後あり方～地域のなかで当たり前前の暮らしを続けるためにいま介護職員が求められているもの～
下剤に頼らない排泄ケアセミナー	3月14日	札幌市	13:00～16:40	1名	高齢生活研究所 所長 排泄用具の情報館 「つむぎ庵」代表 ～浜田きよ子	暮らしを変える排泄ケアのコツ～事例を通して～認知症の方への排泄ケアの視点も～

平成30年度 事業目標と結果 (事業所名： 居宅介護支援事業所 虹)

(全体総括)

新規利用者への迅速な対応はもとより、現利用者への対応も充実させるため尽力した一年であった。生活歴と地域性を考慮したサービス提供をはじめ、他事業所との連携を密にすることで困難事例への対応スピードとニーズの合理性を高めることができた。結果として収支はマイナスになってしまったため、来期は質の維持をしつつ加算取得と業務内容の改善を図り収支を安定させる。

項目	目標	尺度	目標値	結果
財務の視点	残業時間前年度1/2	残業時間	残業時間前年度比1/2	平成29年度290.5時間 平成30年度423時間 結果132時間増
	赤字にならない	加算取得・資格取得	事業活動収支プラス	事業所特定加算 未取得 主任ケアマネ1/3人 -1,699,053円
顧客の視点	いつでもどんなことでも相談できる	対応件数	24時間365日相談できる	夜間対応 34件/年
内部プロセスの視点	空知管内の病院・包括支援センター全てに虹のパンフレットが置かれている	パンフレットの作成 訪問回数	パンフレットの作成 6回/年 病院・包括への訪問	パンフレット作成完了 6回/年の訪問実施できた。
人材と変革の視点	専門知識を身に付ける	研修参加・報告回数	研修参加・報告1人1回/年	ケアマネ研修、高齢者虐待研修に参加し、報告会を行った。
	他居宅事業所との情報交換	会議・研修等への参加	会議・研修等への参加 4回/年	4回

決算状況 (4月～3月) 居宅介護支援事業所

収入	H29	H30
事業活動収入計	10,959,607	11,517,285
施設整備等収入計	0	0
その他の活動収入計	14,994,828	5,911,448

支出	H29	H30
事業活動支出計	12,653,149	13,185,081
施設整備等支出計	551,940	436,680
その他の活動支出計	0	4,000,000

差額	H29	H30
事業活動資金収支差額	-1,693,542	-1,667,796
施設整備等資金収支差額	-551,940	-436,680
その他の活動資金収支差額	14,994,828	1,911,448

平成30年度（事業所名： 居宅介護支援事業所 虹 ）

会議（1月～3月）

会議名	開催日	時間	出席人数	出席者	議題・結果
連絡会議	1月16日・23日・31日	8:30～9:30	3名	鈴木・今・笹木	担当利用者へのアセスメント、対応について協議。 進捗状況の共有を図った。
連絡会議	2月6日	8:30～9:30	3名	鈴木・今・笹木	担当利用者へのアセスメント、対応について協議。 進捗状況の共有を図った。
連絡会議	3月6日・13日	8:30～9:30	3名	鈴木・今・笹木	担当利用者へのアセスメント、対応について協議。 進捗状況の共有を図った。

委員会 参加なし

平成30年度 事業目標と結果 (事業所名：元気満点教室)

(全体総括)

地域で生活する高齢者にとって顔馴染みと会うことができる集いの場として機能し、認知症予防・体力維持の体操等を行った。
認知症にならないため心身を使った活動を通し、在宅生活を続けていく上で重要な社会性を保てることで意欲的な個人目標の設定に繋がった。

項目	目標	尺度	目標値	結果
財務の視点	元気満点を利用する人が増える	利用者人数	15名/日	月 12名→11名 火 10名→9名 水 16名→13名 木 5名→5名 金 10名→7名
顧客の視点	認知症にならない	テスト回数	HRS-R 21/30点以上	テスト施行回数1回のため、評価が行えなかった。
	体力維持	体力測定	体力測定低下なし	4半期ごとにテスト・個別面談を行いフィードバックしたことで、個別目標の評価と再設定ができた。
内部プロセスの視点	目標達成による外出・外食	個人目標設定	個人目標の達成	4半期ごとに個別面談を行い体力測定の結果報告と個人目標の評価を行った。
人材と変革の視点	専門知識を身に付ける	研修会参加	研修参加・報告 1回/年	研修の参加はできなかったが、内部研修と利用者へ講話を行い専門知識を身に付けた。

決算状況 (4月～3月) 元気満点教室

収入	H29	H30
事業活動収入計	11,923,186	11,377,800
施設整備等収入計	0	34,125
その他の活動収入計	286,930	162,558

支出	H29	H30
事業活動支出計	11,782,994	8,110,275
施設整備等支出計	143,880	119,460
その他の活動支出計	0	4,306,000

差額	H29	H30
事業活動資金収支差額	140,192	3,267,525
施設整備等資金収支差額	-143,880	-85,335
その他の活動資金収支差額	286,930	-4,143,442

